

第三者評価結果の公表事項（母子生活支援施設）

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人JMACS

②施設名等

| | |
|--------|--------------|
| 名 称： | 松山市小栗寮 |
| 種 別： | 母子生活支援施設 |
| 施設長氏名： | 渡部 一司 |
| 定 員： | 19 世帯 |
| 所 在 地： | 愛媛県松山市 |
| T E L： | 089-932-0334 |

③実施調査日

平成25年9月10日（火）～9月11日（水）

④総評

◇特に評価が高い点

1. 細やかで丁寧な支援が行われている。
支援に対する職員の意識は高く、職員間のチームワークを活かし、情報共有を図るよう努めている。日常生活の中で入所者のニーズを察知し、まだ気づかれていない支援課題の把握にも努めている。入所者に寄り添った支援を心がけ、夜間を含め、24時間365日の相談体制となっている。

◇改善が求められる点

1. 近年の支援ニーズの変化に沿った特性ある理念・運営指針への見直しが望まれる。

当施設の長年の支援実績や職員の高い専門性を活かしつつ、近年の母子家庭の支援ニーズを考慮し、地域のひとり親家庭への支援の拠点施設として、特性のある理念・運営指針へと見直されることが望まれる。

2. 中長期的な取組みを要する諸課題に対して計画的に取り組んでいく事が期待される。

建物の構造上の課題や、また入所者や地域のひとり親家庭の多様なニーズに対応するための人員や研修上の課題など、中長期的課題に対して、組織的に計画的に事業を運営していくことが望まれる。

3. 入所者（母子）に対して当施設の理念・指針を周知する方法について検討する事が望まれる。

当施設の理念や指針を入所者（母子）に理解してもらえよう、周知内容の工夫や多様な周知方法を検討する事が望まれる。また、子どもへの面接の機会も検討されたい。

4. 現在実施されている諸サービスの記録の方法について更なる改善に向けての検討が期待される。

現在の質の高いサービスを維持しつつ、更なる向上を図るために、支援の効果測定や見直しの検討材料になるような記録のあり方について、更なる検討が期待される。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、職員全員で自己評価を行いました。一人ひとりが自己評価を持ち寄り協議をする中で、業務を振り返り、現状を把握、評価し、再確認することで入所者との関わり方について考える良い機会となりました。また、受審を通して、支援や施設運営等に関して、評価調査者の方々から様々なアドバイスやご意見を受け、これまで我々が取り組んできたことについて、まだまだ十分でない部分の気づきを得られたことは、大変良かったと思います。

この度の評価結果で、高い評価をいただきました職員による細やかで丁寧な支援が行われていることにつきましては、今後においても、職員間で情報共有を図りながら、入所者に寄り添った親切で丁寧な支援を行って参りたいと思います。一方、改善が求められる点としてご指摘をいただきました理念・運営指針の見直し、中長期的な取り組みを要する諸課題に対する計画的な取り組み等については、近年の支援ニーズの変化に沿った方向で検討を重ねながら、更なる支援の質の向上に努めてまいりたいと考えております。

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

1 支援

| (1) 支援の基本 | 第三者 評価結果 |
|--|-------------|
| ① 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。 | b |
| (2) 入所初期の支援 | |
| ① 入所に当たり、母親と子どもそれぞれの生活課題・ニーズを把握し、生活の安定に向けた支援を行っている。 | b |
| ② 新しい生活環境に適応できるよう、精神的な安定をもたらす支援を行っている。 | a |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員一人ひとりが入所者に寄り添った支援を心がけている。夜間の相談体制も含め、24時間職員が常駐し、対応できる体制になっている。入所時には入所者（主に母親）のニーズを聞き取り、職員間で情報共有しながら不安の軽減に努め、問題解決に向けた支援が行われている。</p> <p>母親と子どもそれぞれについてのアセスメント（多様な情報収集に基づく、総合的判断）は担当者を中心に職員が情報共有し協力して取り組んでいる。今後は、関係機関や関係者も含めた協議により作成し、具体的な支援について計画・実践されることが望まれる。</p> | |

| (3) 母親への日常生活支援 | 第三者 評価結果 |
|--|-------------|
| ① 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。 | b |
| ② 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。 | b |
| ③ 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。 | b |
| (4) 子どもへの支援 | |
| ① 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。 | b |
| ② 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。 | b |
| ③ 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人と人との関係づくりについて支援している。 | b |
| ④ 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。 | c |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>母親には、心身の不安に関する相談、医療機関等への同行、必要に応じての服薬管理、家計の管理等様々な取り組み・支援が行われている。</p> <p>子どもには、「くりのみ（子どもの学習室）」を日曜日と祝日以外はほとんど毎日開設し支援している。ここでは宿題や自主勉強の他、集団でのマナー等が身につくよう助言・指導されている。</p> <p>子ども達が安心して「くりのみ」を利用できるよう言葉かけも穏やかで、ゆったりとした態度で関わるなど配慮がなされている。性教育については現在取り組みがなされていないが、職員が専門的な知識を得るよう努め、児童への適正な指導が図られるよう取り組むことが望まれる。</p> | |

| (5) DV被害からの回避・回復 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。 | b |
| ② 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。 | b |
| ③ 母親と子どもの安全確保を適切に行うために、必要な体制を整備している。 | c |
| ④ 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。 | c |
| (6) 子どもの虐待状況への対応 | |
| ① 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。 | b |
| ② 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。 | b |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設の構造上、DVからの緊急避難を要する世帯は受け入れていない。しかし、DV被害が原因で入所していた者が、退所後に加害者からの接触があった場合には、相談に応じるとともに警察等の関係機関を紹介している。子どもに関しては、日々の職員の関わりの中で、自己肯定感の形成が図られるよう一人ひとりを大切にされた支援が実施されている。しかし、虐待やDV被害による心理・精神保健的な支援ニーズは顕在化しにくく、この点については、専門機関や専門職と連携し、より専門的な対応を検討されることが望まれる。子ども自身に対して守られるべき「子どもの権利」について、母子への周知も期待される。</p> | |

| (7) 家族関係への支援 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。 | b |
| (8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援 | |
| ① 障害や精神疾患のある母親や子ども、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。 | b |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>家族関係の悩みについては、母親への定期面談の実施をはじめ、24時間いつでも相談できる体制となっており、職員から積極的に母親に声かけをしている。しかし、子どもの個別面接が現在は実施されておらず、家族関係の調整については十分ではない。特別な配慮が必要なケースには、医療機関への同行など関係機関と連携しながら対応している。</p> | |

| | |
|--|-------------|
| (9) 主体性を尊重した日常生活 | 第三者 評価結果 |
| ① 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。 | b |
| ② 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。 | b |
| (10) 就労支援 | |
| ① 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。 | b |
| ② 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。 | b |
| (特に評価が高い点、改善が求められる点) | |
| <p>自治会を設け、月1回全職員・全世帯が参加し、入所者の意見・要望を聞き、伝達事項の周知等に努めている。また、年1回実施している親子での日帰りバスツアーは、利用者の意見や希望を聞きながら計画が実行されており、入所者にとって大きな楽しみとなっている。幅広い年齢の子どもたちの育ちや子育て支援につながる、多様な行事のあり方についての工夫が期待される。</p> <p>就労支援に関して情報提供はされている。今までは、職場への同行が必要な状況はなかったが、今後は、職場等との関係調整が必要な状況を想定したマニュアルづくりなど多様な体制整備が望まれる。</p> | |

| | |
|---|-------------|
| (11) 支援の継続性とアフターケア | 第三者 評価結果 |
| ① 施設の変更又は変更による受入れを行うに当たり、継続性に配慮した対応を行っている。 | b |
| ② 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。 | b |
| (特に評価が高い点、改善が求められる点) | |
| <p>これまで、施設変更等により受け入れたケースはないが、今後は受け入れマニュアルの作成を検討されたい。また、退所後のアフターケアについては、市の関係部署が相談に応じ、施設でも機会に応じて、個別に柔軟に対応している。今後は、施設の取り組みとして、計画的、継続的なアフターケアが望まれる。</p> | |

2 自立支援計画、記録

| (1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 母親と子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、母親と子どもの個々の課題を具体的に明示している。 | b |
| ② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。 | b |
| ③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。 | b |
| (2) 記録の作成と適正な管理 | |
| ① 母親と子ども一人一人の支援の実施状況を適切に記録している。 | b |
| ② 母親と子ども等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。 | b |
| ③ 母親と子ども等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。 | b |
| ④ 日々の業務について支援内容を適切に記録し、支援の分析・検証や職員間の情報共有に活用するとともに、説明責任を果たす取組を行っている。 | b |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>自立支援計画書の作成手順が定められており3ヶ月毎に見直されているが、世帯としての作成にとどまり母と子どもそれぞれについての作成には至っていない。子ども自身についての日々の支援記録があるのでそれらを活用して、母子それぞれについての支援計画の作成が望まれる。</p> <p>日常の支援に関する記録は行われており、職員間の連絡簿や口頭での引継ぎを行い情報共有・共通認識が図られている。ただ、今のところ支援についての分析・検証までは実施されていないので今後期待したい。</p> | |

3 権利擁護

| (1) 母親と子どもの尊重と最善の利益の考慮 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 母親と子どもを尊重した支援についての基本姿勢を明示し、職員が共通の理解を持つための取組を行っている。 | b |
| ② 社会的養護が、母親と子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。 | b |
| ③ 母親と子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。 | b |
| ④ 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。 | a |
| (2) 母親と子どもの意向や主体性の配慮 | |
| ① 母親と子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、支援の内容の改善に向けた取組を行っている。 | b |
| ② 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。 | b |
| ③ 施設が行う支援について事前に説明し、母親と子どもそれぞれが主体的に選択（自己決定）できるよう支援している。 | b |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>基本方針の中に、一人ひとりの人権に配慮し人格を尊重しなければならないと明記されている。日常の支援においても連絡ノートを活用し共通認識を図っている。</p> <p>母親については3ヶ月に一度、自立支援計画を見直す時に面接し意向の把握に努めているが、子どもに関しては面接の機会を持っていない。今後は利用者にとって最善の利益となる支援を目指すためにも、子どもの意向を把握する機会を設けることが必要ではないだろうか。</p> | |

| (3) 入所時の説明等 | 第三者 評価結果 |
|--|-------------|
| ① 母親と子ども等に対して、支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。 | b |
| ② 入所時に、施設で定めた様式に基づき支援の内容や施設での約束ごとについて母親と子ども等にわかりやすく説明している。 | b |
| (4) 母親や子どもが意見や苦情を述べやすい環境 | |
| ① 母親と子どもが相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、母親と子どもに伝えるための取組を行っている。 | b |
| ② 苦情解決の仕組みを確立し、母親と子ども等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。 | b |
| ③ 母親と子ども等からの意見や苦情等に対して対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。 | b |
| (5) 権利侵害への対応 | |
| ① いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。 | c |
| ② いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。 | b |
| ③ 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。 | b |
| (特に評価が高い点、改善が求められる点) | |
| <p>相談から入所決定に至るまでには度々母子と面談・見学を実施し、入所後戸惑いが起きないよう配慮しながら情報提供に努めている。子ども向けの資料は作成されていないが、数回の面談時に口頭で説明し、近隣の社会資源や学校等に同行しながら理解が得られるよう努めている。</p> <p>「苦情への対応」が管理運営基本方針に明記されており、日ごろから利用者に対し声掛け等してトラブルの早期発見・早期対応に努めている。ただし、第三者への苦情申し立てに関しては整備されておらず、今後の取り組みが望まれる。</p> <p>今までは職員による不適切なかかわりは全くなく、また、母子間での不適切な対応が発生しそうな状況に対して未然に発見し適切に対応されており、問題はない。さらに、今後も継続して施設内で権利侵害が発生しないようにするためには、職員研修や会議等で取り上げ定期的に自主点検を行ったり、利用者に権利侵害にあたる行為の具体例を周知したりするなどの予防策を計画的・組織的に整備されていくことが望まれる。</p> | |

4 事故防止と安全対策

| | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 事故、感染症の発生時など緊急時の母親と子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。 | b |
| ② 災害時に対する母親と子どもの安全確保のための取組を行っている。 | a |
| ③ 母親と子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、母親と子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。 | c |
| ④ 十分な夜間管理の体制を整備している。 | b |
| (特に評価が高い点、改善が求められる点) | |
| <p>市から提供される事故・感染症の発生予防に関する情報は、掲示板を利用して周知に努めており、入所者も有益性を感じている。毎月の避難訓練には全世帯が参加しており、竜巻被害など昨今の自然災害も想定した実地訓練が行われ、効果的な取組みとして評価される。母子の安全管理を図るために、不在時の行き先・帰宅予定時間を、母子ともに外出届等で管理している。訪問者についても、事務所にて台帳に記載後、入室を管理している。</p> <p>安全については、組織として事例収集、要因分析、対応策の検討は行っていない。今後は、過去の安全を脅かす事例の分析および今後起こりうる多様な状況を想定した対応策のマニュアル化が望まれる。また、防犯カメラの設置など人的管理以外の方法による重層的な安全管理体制の整備が望まれる。</p> | |

5 関係機関連携・地域支援

| | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| (1) 関係機関との連携 | |
| ① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。 | c |
| ② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。 | b |
| (2) 地域社会への参加、交流の促進 | |
| ① 母親と子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。 | c |
| ② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。 | c |
| ③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。 | c |
| (3) 地域支援 | |
| ① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。 | c |
| ② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。 | c |
| (特に評価が高い点、改善が求められる点) | |
| <p>必要に応じて、関係機関と連携を取り、ケース会議や情報の共有に取り組まれている。今後は、職員間の情報の統一を図るためにも関係機関の役割等を整理し、対応に関する記録とその管理の工夫に期待したい。入所世帯は町内会や子ども会へ加入し、役員を担ったり、行事には母子が自主的に参加したり、地域と交流しているため、施設が主導して母子と地域との交流の機会を設けることはしていない。また、母子の安全確保の観点から施設の設備開放や提供は行っていない。ボランティアの行事参加もあったが、現在はボランティア希望がなく受け入れがない。今後はボランティアの受け入れの可能性の検討とともに、受入体制の整備が期待される。</p> | |

6 職員の資質向上

| | 第三者 評価結果 |
|--|-------------|
| ① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | b |
| ② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。 | c |
| ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。 | c |
| ④ スーパービジョンの体制をつくり、施設全体の支援の質を管理し、職員の援助技術の向上を図っている。 | c |

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

全国研修に1名は職務として参加し、情報共有を図るよう努めている。職員配置の課題から、研修機会の確保、キャリアや職種に応じた研修計画の作成、初任者研修の実施等は困難となっている。現在の職員配置では難しい面もあるが、職員の研修への参加意欲は高く、今後は、新任者研修や職員のレベルアップを図られる研修計画、スーパーバイザーの配置等を検討されたい。

7 施設運営

| (1) 運営理念、基本方針の確立と周知 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。 | b |
| ② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。 | b |
| ③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。 | b |
| ④ 運営理念や基本方針を母親と子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。 | c |

(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定

| | |
|--|---|
| ① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。 | c |
| ② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。 | c |
| ③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。 | c |
| ④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。 | c |
| ⑤ 事業計画を母親と子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。 | c |

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

現在の管理運営基本方針の内容には、管理運営の視点は明示されているが、子どもの権利擁護の視点や児童福祉施設であるという視点は充分ではない。今後は、当施設の長年の支援実績に基づく独自性や、近年の社会的養護の動向、公営であることの使命や方向性を盛り込んだ特性ある理念づくりに期待したい。また、基本方針及び理念は全職員に配布されているが、十分な理解を促す取組みには至っていない。また、母子への周知や取組みは、今後の課題である。

これまでは個別支援に重点をおき、施設としての中長期計画は策定されていない。しかし、建物の構造から発生する不審者対応への課題、生活面での不便さ、また、職員配置や研修体制の課題など、施設全体として中長期的に取り組むべき課題は認識されている。今後は、当施設の持つ専門性の高い支援力を生かし、ひとり親家庭の地域支援の拠点としての機能も視野に入れ、当施設で取り組む中長期計画を策定する事が望まれる。

| (3) 施設長の責任とリーダーシップ | 第三者 評価結果 |
|--|-------------|
| ① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。 | b |
| ② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。 | b |
| ③ 施設長は、支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。 | b |
| ④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。 | b |
| (4) 経営状況の把握 | |
| ① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。 | b |
| ② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。 | c |
| ③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。 | c |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長は職員の意見に耳を傾けるよう心がけている。今後は、法令の理解、記録の整備などの支援の質の向上、経営や業務の効率化に向けた取組みにおいて、施設長の役割と責任を職員に明示し、リーダーシップを発揮されることを期待したい。</p> <p>入所期間の効率性や入所世帯数の稼働率など多面的な分析が必要となるが、現在は分析や改善に向けた取り組みが十分ではない。市内のDVの発生数を考えた場合、現在の建物の構造上の課題で、受け入れができない現状にも検討が望まれる。外部監査は実施されていない。</p> | |

| (5) 人事管理の体制整備 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 施設が目標とする支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。 | b |
| ② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。 | b |
| ③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。 | b |
| ④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。 | b |
| (6) 実習生の受入れ | |
| ① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。 | c |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>人事管理については、人員体制に関するプランは策定されていない。職員の就業状況や意向の把握は、市の担当者によって年に1回実施されている。また、福利厚生については、旅行やリクリエーションなど、市職員同様の案内が行われている。現在、全員が嘱託職員という体制であることから、今後は松山市ですでに整備されている人事考課、福利厚生や健康を維持するための仕組みを可能な範囲で嘱託職員が利用できるよう、さらなる改善が期待される。</p> <p>実習生は過去に希望がなかったため、受け入れに関する体制及びプログラムは整備されていない。</p> | |

| (7) 標準的な実施方法の確立 | 第三者 評価結果 |
|---|-------------|
| ① 支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って支援を行っている。 | c |
| ② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。 | c |
| (8) 評価と改善の取組 | |
| ① 施設運営や支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。 | b |
| ② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。 | c |
| <p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>支援についての標準的な実施方法は、一部のみ文書化されている。今後は、一連の支援の手順の文書化に取り組むとともに、定期的な検証・見直しも合わせて取り組まれない。</p> <p>自己評価に取組み、続いて第三者評価を受けるなど、サービス向上に向けての改善に意欲的な姿勢がうかがえる。今後は結果の分析や課題解決に向けて取り組まれることが期待される。</p> | |